

2021年09月24日

みずほFG・みずほ銀行に対する業務改善命令——構造改革への影響を注視

みずほフィナンシャルグループ（MHFG、証券コード：8411、発行体格付=A+）とみずほ銀行（AA-）は22日、金融庁から当面のシステム更改および更新等に関わる業務改善命令を受けた。2021年2-3月にシステム障害が相次ぎ、8月以降に新たに機器故障に起因するシステム障害が発生した。MHFGとみずほ銀行は当面のシステム更改等の計画の再検証と見直しを行い、適切な管理態勢を整備する計画を提出することが求められる。

金融サービスの根幹をなすシステムで度重なる障害を起こし決済サービスの信頼が揺らいだことは、今後の事業戦略に影響するとともに、改善基調にあった収益力の足かせとなる懸念がある。勘定系基幹システム MINORI は営業店事務を効率化させ抜本的なコスト削減を進めるうえで重要な役割を担う。MINORI の活用や新たなビジネスが制約され構造改革が遅れることになれば格付に響く可能性もある。

ガバナンス面にも注視が必要だ。金融庁はシステムやガバナンスに関する検査を継続し、改めて必要な行政処分を検討するとしている。2002年と2011年にも大規模システム障害が発生した経緯を踏まえると、組織間連携やガバナンスに問題があるとR&Iはみている。特別調査委員会においても一連の障害の原因は組織力や顧客目線などの弱さに加え、これら問題が容易に改善されない体質や企業風土が根底にあると指摘している。企業風土の改革には時間がかかるだけに、今後のガバナンス強化に向けた取り組みと実効性を確認していく。

主任格付アナリスト：大内 祥子

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。